

改定保育所保育指針について - 保育内容を中心に -

～ 天野珠路 先生の 講義を聞いて～

現在、子どもたち、特に1～2歳児が約半数保育園に通っている世の中。昔は家庭で育てていた年齢です。時代とともに、保育指針が改定されるのは、当然のことでしょう。

天野先生の講義は、以前の指針との見比べや、年齢別に書かれていても、横に並べていけば、つながっていくこと、何歳にどのようなことを、目標としないといけないのか、そして上の学校との連携等、難しくて読むのも大変な指針についてわかりやすく、ポイントを説明されました。特に大切なところは、声にも力が入り、自分の経験も交えて話され、保育の勉強をしている者にとっても理解ができました。

何に対しても、経験し、実践していくことは、一番大切なことですが、その基盤となる保育指針は、やはりいつも念頭に置いておきたいものはいいものだと思います。そして、同じ目的、目標を共有することが、次世代へもつながって進んでいくことであると、強く感じました。

丁寧な講義をありがとうございました。



改定保育所保育指針についてー保育内容を中じにー

。保育のことはよくわかりませんが、その子にあった(一人、一人の)保育が大切なのかなあと思いました。

給食の事で、いうと「アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応」が命にかかわることになるので絶対に間違いがあっては、いけないので、確認、に確認、をかせめて、提供しなくては、いけないと思いました。毎日、全員で確認して提供して、ね。

これからは、少しでも何んでもいいので、保育に参加できればいいかなあと思いました。

講演会に参加、させて頂いたときありがとうございました。



指定保育所保育指針について ～ 保育内容を中心に ～

今回 お話を聞いて 保育園から高校生まで 育みたい資質・能力  
が同じというのには、びっくりしました。目指すところがきちんと決まって  
いるのは良いことだと思います。

私は栄養士なので、アレルギーのある子どもへの対応を  
丁寧に間違いないよう、複数人で確認していかないと  
いけないと改めて思いました。

貴重なお話をありがとうございました。



## 改定保育所保育指針について

平成30年4月より改定された保育指針ですが、改定前の指針に対する理解が部分的にしかなく今回の研修で改定前の内容と改定後の内容とを照らし合わせて説明して頂く事で本当に分かりやすく、学ぶ事が出来ました。

改定の方向性として、改定前は0~6歳まで一緒とする保育のねらいであったが、3歳未満児の保育の需要の拡大によってねらいとする対象を具体化する事でより明確に記載するといった保育の場の多様化。保育指針の「前文」が小学校・中学校・高校における教育要領の前文と同じになっているのは、高校に行くまでの子どもの成長の過程の方向性を同じ、一貫性があるものにする為であるなど、改定する意味をしっかりと認識しました。

“保育”していく上で保育士は、子どものやりたいといった気持ちやどうしたら満足感が得られるのかを考え、保育者のそと寄り添ったフォローによる養護と教育、そして2歳児における保育の重要性は今現在、最も求められていて意図的に取り入れていくべき事として課題もたくさんあるのだと感じました。

一番子どもたちと身近に関わる保育士だからこそ、子どもの成長に向き合い、日々の保育での工夫や連携を大切にし、育ちゆく一人一人の視点を見失わないよう、深く関わっていきたいと思いました。  
素敵な講演を有難うございました。



ベアーズではフッキングは以上見の行事となっている  
が、二才児でも棒寒天をちぎってふやかし  
ゼリーになる前の事をして出来上がった物を見て  
達成感・満足感といった物を味わえるという話に  
何でも経験させる事。又、二才児でもなると  
いう事が出来る事になるとは素晴らしい物を  
沢山持っていると思う。



改定保育所 保育指針に入り、以前のものと大きく変わった所を、丁寧に詳しく伝えて頂き、とてもよくわかりました。

幼児期の教育を担う場としてだけでなく、入所する子どもたちの最善の利益を考えた生活の場になければならない。という文句に、常に子どもたちに失礼のない保育、一緒に遊んで楽しい場、や人的環境の提供をしていく為に、どうしたら良いのかを考えていく大切さを改めて感じました。

おもしろい！ やってみた！！と思えるような事や、ワクワクしながら遊ぶた！！と感じる事や、夢中になっ遊ぶこめる環境づくりをしていく事が、保育士として大切な役割だと痛感しました。

また、写真にのっていた、1才児の遊ぶスペースで、コートを細かく分けて密集しない環境を作ることで、かみつき、ひかきにならない工夫がなされているのはなるほど、と思いました。

クッキングなども、2才児の特性を生かしながら私でも出来た！と思える経験をさせてあげられるような保育が出来たらとても素晴らしいと思いました。

良いものはすぐに取り入れていくという部分を大切にし、幼児期の終わりまでに育ちほい事が十分に満たされるような保育を目指して頑張っていけたらと思います。

ありがとうございました。



天野先生から既定保育所保育指針について学んだ。

環境の変化を踏まえた健康・安全の記載の見直しの中で災害や子どものアレルギーについての対応も含まれていると学んだこと。子どものアレルギーは、保護者や職員で確認し話し合い、そして職員同士で共通理解をやっていくことの重要性であること。保護者支援では、地域において保護者にとって身近かな施設が保育園、認定子ども園であること。生命の保持、情緒の安定では、体の土台や心の育ちに繋がっていくこと。また、保育計画を立て、実践をし振り返りをしていくことで改善点が見つかり次に生かしていくこと。10の姿では、職員同士で育ちと学びの共通をしていくことが重要であると強く感じた。環境構成あそびの視点から子どもが自分で玩具を手にとり、組み合わせていき、そして、保育者と一歩者に考えこ、こあそびや見立てあそびに展開できるようにコーナー作りやものの置き場も大切であること。講義で学んだことを園生活に生かしていきたい。



改定保育所保育指針についての研修を終えて、

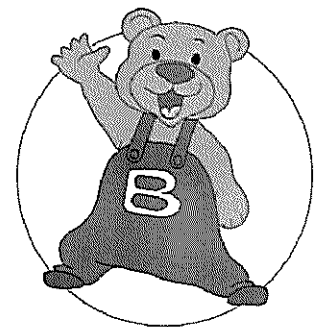
資料に沿ってしっかりとこわいにお話をしてくださり  
とてもわかりやすく勉強になりました。

幼児期の終わりまでに育てたい10の姿を頭に置き、職員  
間で連携を図り、小学校・中学校へとつなげていくような  
教育を意識していくこと、またすべての基礎にひく幼児期の  
園育りの重要性を改めて感じた。子どもたちの活動を記録し  
育りの伸びを検討したり、心と体の安定、自己肯定感を育  
んでいくよう豊かな園育り、受容的、愛情に満ちた応答を  
心がけていきたい。

また、子どもたちが主体的にあそべる環境を日々、考えて  
いくのが環境構成の大切さも改めて感じた。

職員が共通のイメージを持っていくためにも、よく話し合い  
支え合い、理解していくことが大切だと思った。

自分の保育を振り返り、勉強していきたい。





改定保育所保育指針について  
ー保育内容を中心にー

講演の話しの中に、改定された保育指針、教育・保育要領をモデルに加わったことや、変わった場所を挙げていただきました。

又、改定後の指針や教育・保育要領から、子どもが育つための

土台に、「領域」があるのだとお話しがあり、よく分かりました。

育むたい力は何か、知識・見識に関わるものは、人間育成に関係していると聞き、改めて子どもの育つ姿を大人は共有していく必要、大切さを感じました。

改定されたポイントを見ると、いくつかありますが、変わったのは

どうしてなのかという部分に興味を持ちました。自身の

知識とつながるように、勉強していきたいと思いました。

まず、5領域や育つ姿の10の姿に視点を置いた

目標や関わり、子どもの発達記録をしっかりとつけていき

たいと思います。



社会的意識が高まっていること(災害への備え)など新たに盛りこみ、

よりよい保育指針になるために改定されていくのだなと感じた。

保育の目標の話で、カエル探しの例に挙げたお話を聞いたとき、

カエルに対して興味から実戸探しにつかまえて、友だちと見せ合うという

一連の流れは“環境”という領域だけではなく“人間関係”にも

つながっている。各領域は切っても切り離せない。ということに、衝撃を

受けたなと共感しました。また、“2歳児の保育は大事、3歳以降

につなげていく土台をつくらなければいけない”という言葉に改めて大事な

ことだと認識し、これからがんばっていかねばと感じた。

育みたい10の姿を元に計画し、実践して次のステージへとつなげていくことの

大切さを感じた。



## 天野珠路先生講演会の感想

- ・ 改定保育所保育指針の勉強会が何度かありましたが、解りやすくなたとは言え、やはり難しいと思います。
- ・ 今回のお話しが、一番解りやすかったで「あが」……
- ・ 避難訓練の大切さと日々の保育のあり方などが、こ一番の時に現われる事が理解できました。
- ・ 以上見との関わりの中で、末荷見がでさなり事もたくさんありますが、それをどう保育の中に工夫して入れていくかが問われ、その重要性を学びました。
- ・ でさなりと決めつけるのではなく、どうしたらできるかを工夫し、子どもに満足感をあげてもらえる保育の大切さがよくわかりました。
- ・ 日々の保育も大変だと思いましたが、書くものも多いいので少し減るとよいと、感じました。



天野先生の講演を聞いて。

保育所保育指針の改定ポイントについて、自分で読んでいましてが、

なかなかわかりにくいところもあったのですが、今回、説明をしていただき、

項目ごとにとてもわかりやすくまとめてあり、理解することができました。

環境を通して行う保育のほなし。各年齢にあつた、環境構成として

いくことで、子ども能力が伸びていくんだなと思いました。

また、四季を感じられる環境構成も大事だなと思いました。

自分でももう一度保育指針を読み、もっと理解を深めていきたいなと

思います。



「改定保育所保育指針について」講演 感想

園から「認定こども園教育・保育要領」と「解説書」をいただき、園内研修も何度かありました。本を見ただけではなかなか分かりにくく、「保育士の専門性と質の向上」とか「3つの柱」や「幼児期に育てほしい10の姿」という言葉だけ記憶に残っているだけでした。

この度の天野先生のお話で、なぜ、何のために今回の改定があったのかよく分かりました。保育園、幼稚園、認定こども園が、子どもの成長を3つの資質と能力を基礎としたことや、それを幼児期から高校まで連続に掲げられること。

保育の内容については、「10の姿」に向けての年齢別の子ども様子を具体的にお話いただき、1つ1つが出来ましたではなく、遊びのつながりの中で育っていくよう捉えるなど、イメージしやすかったです。

私は保育士ではありませんが、保育園、認定こども園の役割や幼児教育・保育の変化について先生たちと共通理解できるよう勉強していきたいと思います。

ありがとうございました。



## 改定保育所保育指針について～保育内容を中心に～

今回、天野先生のお話を聞いて、保育は5領域を中心として生活していくことが大切だと感じました。5領域の環境の中で、我が国や地域社会における文化や伝統に親しみとあり、様々な文化を知ること大切という天野先生の言葉を聞き日本の文化にたいものにもふれることが大切なのを決まりました。最後の方に写真が出てきた中で、園児の保育環境の写真の中で棚を見て、コーナーをつくっているの見た時に、ベアーズでしていることと同じだなと思い自分の保育を振り返りました。又、その中でも保育者の配置や子どもの様子を見ながら、他のコーナーに誘導してトラブル防止につとめるなど自分の保育を照し合わせて見ることができました。今回の研修で保育指針を再度、振り返ることができたので、日々の保育に生かしていきたいと思います。



「改定保育所保育指針について」

天野 珠路先生

具体的ばかりやさい言葉で表現されるように  
変わったため、目標とするものがより明確に感じた  
感じ。同じ言葉を使うことでイメージを持ち  
大人同士共有しやすいことや全て環境を通して  
行う保育であることなど、改めて見直すと、大切はこと  
が目に見えなかった。理屈ではあまり効果が  
高いと言われていたことが印象的で子どもの  
体験したことより栄養にほめることを学んだ。  
部屋の環境構成にしても、コーナーを作っ  
ておく、子どもが組み合わせる遊びが  
発展していくことを開き、子どもに遊びを  
選択できるようにしておくことも大切  
であると知った。

“主体はあくまでも子ども”という  
ことを頭に入れて日々、  
保育を見直したり実践したり  
していった。

ありがとうございました。



天野先生の講演を聞き、一番心に残っている部分は環境構成の部分です。今、自分の担当している1才児クラスで環境構成について他の先生方と考えているところだったので、とても興味がありました。まず、玩具の配置やコーナー作りの変更が改められました。先生が例として挙げられた中に、「1歳児16人に対して、7か所のあそびコーナーがあると良い」というお話がありました。あそび場所が多いほど、1か所に密集しすぎることなく、トラブルが起る確率が減らせるという先生の考えに、子どもたちが落ちついたらあそびこともでき、可能であれば実践してみたいという気持ちになりました。

また、子どもたちが飽きることなくじっくりとあそびを楽しむためにはどうしたら良いかを考えていきたいと感じました。

あそびに飽きてしまった子に対し、その子がまた面白いと思えるようなあそびを提供してあげたいと感じました。





幼稚園教育は環境を通して行うもの、他の園ではその地域の特徴を生かした保育環境を作り、子どもたちが楽しんで過ごしている姿に、ヘアーズも県の特徴を生かした保育をしていったら良いと思いました。

食育も県の名産品をもとにしたメニューを使っていこうと思います。



感想

## 改訂保育所保育指針について

— 保育内容を中心に —

天野 珠路 先生

改定保育指針について 方向性のポイントをわかりやすく  
お話していただき、全本の構成が理解できたように思う。  
章立てを覚えただけで項目を覚えていくとどこに何が記載しているか  
わかりにくく感じられていたが、今回の講演内容と指針を見比べて  
いくことで日々の計画に役立つと感じた。環境の大切さ  
についてもお話をしていただき、写真を見ることで、どのような保育者の  
配置が必要なのかもわかりやすく実践していきやすく感じた。  
主体的に遊ぶ子どもを育てるためにどのような働きかけが  
必要なのかまた、卒園と学びの連続性はどのように環境を  
整えていくのか指針、教育要領を聞かせてから日々の  
保育・教育を進めていきたい。子どもの意見、意欲の発現、  
素性をしっかりと見守ってほしいと思う。  
小学校への接続の大切さを感じ、将来ある子どもたちを  
大切に育てていけたらと思う。



「改定保育所保育指針について - 保育内容を中心に -」

鶴見大学短期大学保育科 天野珠路先生の研修を受けて

今回の研修で 改定保育所保育指針について 一ツツ丁寧

改定のポイントをわかりやすく説明をしてくださ。理解しやすかったです。

改めて私たちが保育者が「子どもたちの成長に深く関わっており、そのために

一ツツ丁寧に保育を行っているのは本当に痛感しました。

「2歳児の保育」がその後3歳児の保育につながっていく大切さや

育りの連続性についても理解を深めることができました。

また、「保育・幼児教育の専門性は環境構成に現れる」との話に

聞かせていただく中で 環境を通して行う保育が子どもたちの心とからだの

成長につながる大切さを改めて感じました。

自分自身の保育を振り返りながら もっと創意工夫していくためにはまだまだ

反復し、子どもたちが育ちゆく大切は存在であり、こういふことと十分認識し

今の状態に満足せず、新しいものも提供できるようにしていきたいと思えました。



天野先生のお話は大変丁寧で、とてもわかりやすく勉強になりました。

- 改定ポイントとして、〇これまで未就学児でくられていた保育について、特に乳児・1〜2歳児について細分されて記載されていること。(利用児の増加)
- 〇食物アレルギー児への対応が食育の枠から格上げして記載されていること。(保育者の知識、関係機関との連携などを強化し、安全を確保)
  - 〇入所児の保護者はもとより、地域と連携をした子育て支援のネットワークづくりについての追加記載がされていること。(多様化する家庭環境への対策)

私たちに仕事がいかに大切かを再認識することができました。

また、用語についても解説いただき、保育計画を立てる際にあいまいだった領域の振り分け方がわかりました。「どの年齢を受け持っても、前後の子どもの姿がわかり、関わられるような計画を」という言葉があり、正に保育計画の根底にしっかりと置かなければならないと思いました。

各領域にあるろっのねらい「豊かな心情」「意欲」「態度」が世界的に共通であるという言葉もありました。環境構成についての写真も拝見しましたが、色々な国や地域で、そこで子どもに携わる保育者が、そこにいる子ども一人一人のことを考えて、日々子どもに向き合っているのだと感じました。

「子どもを中心に」「今の子ども」「就学した子ども」「社会に出た時」を考えたながら保育をしていこうと改めて思いました。

研修に参加させていただき、ありがとうございました。



## 改定保育所保育指針について 研修会 感想

今回の研修は 改定保育所保育指針についてでした。

改定された部分、そして保育を正に果たして大切にしてほしい  
ことを、わかりやすく説明してくださり、とても良かったです。

養護の部分では、体のじょうずな作りになること、体のじょうずさについて  
書かれているとのこと。幼児教育を行う施設として共有すべき事項に  
ついては、小学校の学習指導要領と同じ。この姿が、使用してあるとい  
うことでした。また、育った資質、能力については、3つありまが、  
基礎という言葉が使用してあること以外は、保育園から高校まで同じとい  
うことで、改めて、とても考えられ改定されたものに感じました。

5領域についても 細かく説明していただき、年齢に応じて なが  
かりがあるというところが とてもよくわかりました。乳児については5領  
域に近づける 3つの指針の話もありました。

丁寧で、日々の保育に追いつけず、忙しい中でも、改定された教育、  
保育要領をしっかりと読み込めることができていますね。保育計画や子ども  
との保育の関わりを考える時に 参考にし。

今後に向けて がんばりたいです。

ありがとうございました。



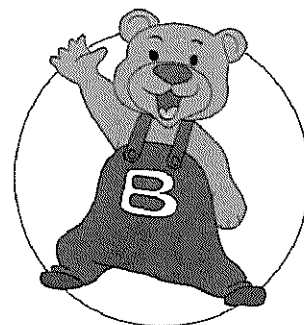
子育て広場 2 1 講演会「改定保育所保育指針について」

今回の講演を聞き終えて、指針や教育・保育要領解説を自分自身でしっかりと読み込まなければならないと改めて感じました。

0歳から就学前までという子どもたちの長期的な成長の見通しや発達連続性を理解することが大切であると認識しているつもりでした。しかし、0歳児の育ちが、就学前の姿のどこに繋がっているのか、改めて年代別にみていくことで、どのように繋がりがあのか、育っていくのか、まだまだ見通しができていないと感じました。年長児の終わりまでに育ってほしい姿は、その時期だけで現れるわけではなく、0歳からの育ち、経験によって芽生えてくるということを認識して保育することの大切さを改めて感じました。

また、最後の「さまざまな保育の環境」の画像では、各年齢の保育環境で大切するポイントがとても分かりやすく、参考になりました。自分のクラスに置き換え、足りているのか、その子にあった内容になっているのか改めて見直したいと思いました。

指針や教育・保育要領の改訂に伴い、乳幼児期の体験がとても大切であると明記され、保育者としての専門性がますます求められています。これからの保育、子どもたちの育ちを保障するためにも、しっかりと指針や教育・保育要領を読み、自分の保育に繋げていきたいと思ひます。



「改定保育所保育指針について」

子どもに関わる大人(職員)が共通のイメージを持って、小学生・中学生への一人一人の成長を見守っていく中で、乳幼児期の人間の育ちに関わる根・土台作りの大切さを改めて感じた。

一人一人の子どもの姿をじっくりと見つめ、一人一人のねらい・保育計画を作成、展開していくこと、記録に残すこと、又見直しを繰り返して保育計画が必要だと思った。

この写真は保育環境の写真では、子どもたちが主体的に夢中であそぶ姿が伝わってきた。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭に置き、まずは環境(保育者・ものなど)を整えていくこと感じた。子どもたちの言葉や思いを生かし、「子どもがやりたいこと」「子どもがやりたいこと」は、子どもたちの意欲を大切に工夫して保育をしていくこと。



「改定保育所保育指針について」

天野 珠路先生

保育指針も自分で勉強しようと思うと少し難しく思うところがありました。今回資料や先生のお話しも聞かせて頂き、とてもわかりやすく教えてもらうことができました。保育をしていくうえで領域はとっても大事だと改めて思うことができ、子どもたちにとって良い環境作りができているのか、いろいろな体験ができるように整えてあるのかなど先生のお話しも聞きながら思うところがありました。就学時までにはいろいろな体験も大人が一系者に共有しながら、子どもたちの気持ちを受け止め、それに応え保育もして関わっていきたいです。

今回のお話しも聞かせて頂き、改めて日頃の保育の見直しや保育計画を立てる時に大切なことなどを学ばせて頂き、今後の参考にしていきたいと思いました。

イラストにあたり、コーナー作りや、お部屋の棚の位置、玩具の置き方などもとても勉強になりました。

ありがとうございました。





今回の研修では、改定された保育所保育指針について、改定された所について話を聞いた。

最初に改定の方向性についてのポイントがあり、乳児や未満児への保育の充実、災害への対応、子育て支援、専門職の向上など、多くの内容が充実されたことが分かった。

子どもを育てる中で周りが同じイメージを持ち、共有することが大切であり、クラスの中で保育者が同じイメージを持って保育が大切だと感じた。

環境構成の視点という点があり、あそびのコーナー作りや子どもが考えたり、見つけたことに対して保育者が合わせてあそびが盛り上がるような環境をその都度作っていくとあり、とても勉強になった。

子どもが自分で手に取りたくなる、あそびたくなるような環境を作っていくかならないと感じた。

保育環境の事例を写真と共に見ていたが、1歳児では、保育室の構成を7、8ヶ所あそび場所を作っていたり、保育者が声をかけてさそったりしているとあり、2、3人で集中してあそぶことができるようにしてあるのがすごいと思い、あそび場所作りを考えていきたい。

"自分を認めてもらえることが他の人を認める、優しくすることにつながる"という言葉がとても胸に残り、大切にしていきたいと思った。



認定こども園ベアーズ園内研修会

テーマ「改定保育所保育指針について」

講師 「天野 珠路 先生」

今回の改訂のキーポイントである、育ちと学びの連続性は、保幼・小・中・高と次のステージに受け渡していくこと。それには、幼児教育から高等学校までを通じた見通しを持って、何を身に付けそれを次の段階にどのようにつないでいくか、共通の観点、共有のイメージを持つことが大切である。その具体的な姿が「育みたい10の姿」である。先生のお話を聴いて、次のステージに受け渡していくこと責任をひしひしと感じております。

また、未来は勿論大切ですが、今！現在を最もよく生きること。「いま・ここで」を大事し、育てゆくそのプロセスが大切である。それには、まず園全体がよい職場であること。園全体がイメージを共有し、創意工夫を図ること。とにかく、思いついたことをやってみる。そして、子どもについてわくわくしながら話し合うことが大切であるなど、たくさんのヒントをいただきました。先生に背中を押していただいたように思いました。

また、明日から子どもたちの幸せのために、子どもたちの最善の利益を第一に考え、日々研鑽していきたいと思いました。



保育の現場は、子どもの生涯にわたり、人格形成の基礎を培う重要な役割を担っている。

日々の大切な生活の場だと改めて感じました。

その中でも、0、1、2才児の保育は基礎を

つくる大切な時期、土台づくりをしっかりと

していくことが、3才以上につながり、5領域の

保育を通して、次の小学校以降にも連続性

をもっていることがわかり勉強になりました。

子ども達の「いま、ここを」大事にしながら、学んだ

ことを日々振りかえり、子ども達と大切に關わって

いこうと思います。

講演をまかせていただき、ありがとうございました。



天野先生が子供達と友達にふせ子 熱い  
思いや人柄を講演中で感じ  
ました。

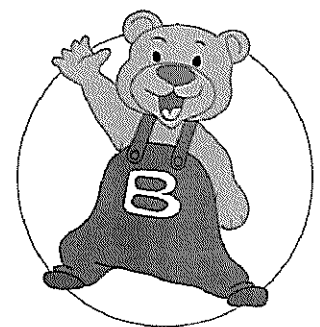


※改定保育所保育指針について 感想

今回、講演を聞かせていただき、とても勉強になりました。内容は難しい物でしたが、奥が深く、とても興味深かったです。

最も印象に残ったのは、“2歳児の保育はとっても大事”という先生の言葉でした。私自身、今2歳児の担任をしていて、2歳児の難しさやおもしろさを実感しているところでした。できることがどんどん増える中、上手くいかないからともあり、子どもたちへの声かけも日々考えています。3歳以上児につなげていく“土台をうちかう時”という言葉聞き、私自身もっと勉強していかなければならないと感じました。

子どもたちの成長の課程を大切にしながら、日々のあそび、声かけを考えていきたいと感じました。



今回の講演会で 保育所保育指針 について 分かりやすく  
学ぶことができました。難しい言葉が多く、具体的に分かりづらい  
部分も説明を聞き、理解を深めることができましたと思います。また、  
5領域の話で、言葉は違っても世界でも5領域で考え  
られているお話を聞き、国は違っても目指すところの姿は、  
同じなんだなと感じました。また、環境構成についても、普段の  
保育の中で、子どもたちがワクワクするような環境を整えて  
いくことが大切だと改めて思いました。指針を元に、子どもたち  
主体の、毎日楽しく過ごす保育をしていきたいと思ひます。  
写真なども参考にになりました。今回は講演を聞かせて  
いただき、ありがとうございました。



改定保育所保育指針について

～ 保育内容を中心に～ 天野珠路先生のお話を聴いて

保育園、幼稚園で保育士として19年間勤められた経験をおもいで、厚生労働省保育専門官として勤務され、保育所保育指針の改定に携わっておられた天野先生のお話を聞けることをとても楽しみにしていました。

幼保連携型認定こども園教育、保育要領解説書を読んでみながら理解できなかった部分や先生のお話、資料から改定のポイントがわかりました。「保育の内容」は、ねらい、内容、内容の取り扱いと、縦につながって見ていくと、とてもわかりやすかったです。この資料を見ながら、解説書をゆくり読み、勉強していきたいと思います。

また、天野先生の研修があれば、是非参加して勉強していきたいと思いました。先生のお話を聞きながら、元気とパワーをいただきました。ありがとうございました。



## 園内研修の感想

すごく、難しい内容でした。

以前、尚徳中学校校区教育推進協議会の総会に行かせていただいた時に、15年プランの事を言われていましたが、それに通じるものがあり、高校まで共有していく事が大切だと感じました。

保育していく上で、ねらいや内容、配慮事項を確認し、勉強していかなければならないと思いました。





今回、天野先生のお話を聞いて、改定された保育所

保育指針の内容が少し理解できた。

保育所保育指針の見方、読み取り方も少しお話しした  
だけ、自分でも理解ができるようまとめていこうと  
思った。

また、子どもが育つために大切な環境の部分につい  
ても詳しくお話を聞かせていただいた。

今後の保育室の環境づくりに役立てていきたい。



改定保育所保育指針について 保育内容を中心に

天野先生の講演会感想

とてもわかりやすく丁寧にお話いただき良く理解できました。

あらためて保育の大切さを痛感しました。子どもたちの生きるための基礎を築いていく事の重要性を感じて保育に向かいたいと思います。

幼児、小学校、中学校、高校と一貫した「育ってほしい姿」が共有されていることで子どもたちの育ちがスムーズにできる事など子どもたちが大切にされている改正だと感じました。

天野先生のお話で印象に残った事は、環境で子どもは育つというお話でした。

大人があれこれ言葉で伝えるよりも、本物の体験が子どもを育てるという事。

百聞は一見にしかず。子どもたちが胸を震わせる、心に残る体験ができるよう努力していきたいと思いました。

とても良い講演会をありがとうございました。

## 改定保育所保育指針について の感想

幼稚園、保育所、小、中、高と一貫してつながっていくように改定され、一番の土台である幼児期での学びの大切を改めて感じ、この幼児期の成長に不可欠なものとして、大切な役割があると深く考えました。0歳から5歳児まで分かりやすくまとめて説明してもらいとても良く分かりました。もっと読んで活用していきたいと思えます。

保育の環境では写真で、たんぽぽを使って重さを比べる、忍者に扮してきたの薬作り、図鑑など子どもたちが興味を持って遊びの中で主体的に学ぶ環境が整っていました。クラスの部屋、子どもたちにとってどのよう環境が良いのか考えたり見させて頂き、環境を通して行う保育の奥深さを感じました。遊びの中で「興味」を持って取り組んだことが、小学校の学習の基礎にもつながっていくことも思い、子どもの興味に合った環境を整えていけたらと思います。貴重なお話をありがとうございました。



今回の講演会は保育の学問がない私にとっては  
難しいお話でしたが、勉強する機会をあたえていただき  
いることに感謝です。いたたいてる資料他にはまだ  
まだ目を通すことができていません。

お話の中に「保育が大事である」ということが残っています  
クラスの先生方との連携をとり、聞く、見る、と経験を積み  
子ども達の大事な時期の成長に関わりた...と思います

「子どもの「いま、ここで」を最大限大事にしたい。」

この思いです



子育てひろば21

「改定保育所保育指針について - 保育内容を中心に - 」

観貝大学短期大学部 保育科 天野珠路先生の講演を聞いて

保育所保育指針の改定について 1つ1つ丁寧にとてもわかりやすくお話ししていただき、2時間の講演会があとという間に過ぎていきました。

すべての項目を横たらびにしていくとつながっていて 乳児期だけでなく 小学校、中学校、更には高校まで 関連性があるというお話を聞いて いかにも 乳児期の人間形成が大事であると感じました。そしてその土台である乳児期に関わっていく 保育士という仕事がとても重要な役割を担っていると共に 責任ある仕事だと強く思いました。

また施設長という立場から 園全体がよい環境の中で 保育をしていかなければならないという責任を感じました。職員との連携、専門性の向上など、一人一人に寄り添った保育を提供していくことが欠かせない項目をしっかりと勉強していきたいと思えます。

保育の手本である 保育指針を現場の職員と共通理解をしながらしっかりと読み解き、日々の保育に生かしていきたいと思えます。

大変貴重なお話をありがとうございました。



改定保育所保育指針について - 保育内容を中心に -  
研修に参加しての感想

私は昨年11月より馬尺前バアズで午後からのパート勤務をさせていただいておりますが、保育所保育の基本となる「保育所保育指針」の内容についてあまり意識していなかったのではないかと反省しています。

今回、研修に参加させていただいたことにより、改定のポイントや内容をわかりやすく丁寧に教えていただきとても勉強になりました。

その中でも1歳以上3歳未満児の保育の内容のところで先生のお話しの中で2歳児の保育がとても大事(肯定的に、自分をもつ)と話されていた事がとても印象的でした。

私自身今日の前にいる子ども達1人1人の発達の姿を正確にとらえ、心に寄り添い、周りの先生方に教えていただきながら、互にお迎えを待つ子ども達が安心して過ごせるよう努めていきたいと思っております。

また、先生がおっしゃったように子どもの未来を考えるには今が大事なんだというこを心に刻み、1日1日を大切にしていきたいと思っております。

ありがとうございました。



## 改定保育所保育指針について

— 保育内容を中心に —

鶴見短期大学  
講師 天野珠路先生

4月より新に改定保育所保育指針が適用され、改定に際してこの度、研修を設けていたのですが、とても有難く思いました。自分の善後から勉強すればいいのですが、なかなか向かえないでいました。

新指針では乳児、1歳以上の歳末満児、3歳以上児の3つの区分に分けられ、乳児期には養護と教育の一体性をより強く意識して「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちの通い合え」「身近なものに関わり感性が育つ」、そして5領域ではそれぞれ独立していきなりなく、お互いに相互に重なりあうものがあるという点を捉えて保育にいかねければならない。

育みたく、価値、能力—子どもが発達を認識してねらいといふことと子どもの保育を見直し今後の保育に生かすようにしていきたいと思っております。



## 改定保育所保育指針についての講演を聞いて

保育所保育指針の改定について、資料やスライドにまとめてあり、とても分かりやすかったです。

改めて保育の内容とねらいについて理解し、

保育とはどういうものか、子どもの豊かな育ちにつながる保育とはどういうものか、勉強になりました。

日々の保育をふり返ると、ねらいに合った保育ができていないのか、見つめなおす機会になりましたと感じました。

年齢や月齢に合った遊びや環境など、

大切なことを見落としていたような気がしました。

最後のスライドの写真では、様々な保育の環境

の写真が映し出されました。乳児室では、家庭の雰囲

気と、最も大切にした環境となっており、あたたかい雰囲気だ

とても良いなと感じました。

子どもの関わりや興味を高めるために、お話ししたアイデアや、

素材、空間、玩具の並び方など、とても参考になりました。

保育に取り入れ、実践したいと感じました。





改定保育所保育指針について ― 保育内容を中心に ―

鶴見大学短期大学部保育科 天野珠路先生 の話を聞いて

保育所保育指針の改定ポイントや内容などの説明、資料とともわかりやすく、勉強させていたいただきました。

乳児保育と1・2歳児保育に関わるねらい及び内容が横並びにして見ると、ともわかりやすく感じました。私は現在、小規模保育園の勤務なので、自分の保育と照らし合わせながら聞かせてもらいました。

さまざまな素材・玩具に触れて、感覚をのぼすのは0歳児が一番だと言われた先生の言葉に、改めて責任重大だと気持ちを引き締まりました。

「3つの柱」と「10の姿」は、保育園、幼稚園、こども園から小中高校まで関わる全ての大人が共有すること、共通のイメージを持つことが大切だということをお話し、今回の改定のなかでも重要なことなので、日々の保育でしっかりイメージしなくてはいけないと思いました。

保育所保育指針を、しっかり頭に入れて、子ども達がさまざまな経験ができる保育を心がけたいと思います。



今回、改定した保育所保育指針の内容についてポイントごとに  
具体的に知る事ができて、とても勉強になりました。

どのような過程で内容がどうかわっていたのが分かる事ができました。

本を読むだけではなかなか理解できていない部分も多くあり、しかりと

学ぶ機会ができてよかったです。これから自分が保育をやって保育所

保育指針の改定を踏まえて大切にしていかなくてはいいと感じる

ポイントがたくさんあるので、もっと新しい保育所保育指針を読み込

んでいき、理解して保育に生かしていきたいと感じました。

また、さまざまな園の写真を通して話していた「さまざまな保育の環境」

ではそれぞれの年齢に応じて二人な環境の作り方、工夫の仕方が

あんなにととても参考となりました。各年齢の発達に合った保育室の

環境、物の置き方や展示の工夫などもう一度今の環境を見直し

ていけたらなと思います。



## 改定保育所保育指針についての講演会 感想文

アレルギーへの適切な対応や災害の備えという現代社会の中でも重要な項目が加わっていることに、子どもを取り巻く様々な環境面の安全対策がしっかりと考えられているのを実感しました。

認定こども園が増えてきていることで、保育園の体制が大きく変化し、小学校への子どもの育ちや学びの連続性を見据えて、ふかき教育の大切さが重要視されていることも強く感じました。子どもの心と体の発達に大きく関わる保育士としての責任の重さを改めて認識しました。



改定保育所保育指針について

天野先生のお話を聞いての感想

改定保育指針についてのお話は正直、難しい内容でしたが、先生に解説していただき、事例も混ぜて聞かせていただくことができるとも分かりやすかったです。

先生のお話にもあったように、保育の目標の姿が指針として示されていて、階段を登ったように順番にだれもか成長していくわけはないので……と先生のお言葉をきいて、うなずくことはかりでした。指針は示されているけれど、子ども一人一人の個性や成長の行ったり来たり戻ったり進んだり止まったりも見極めを対応して寄り添っていきながら保育士としての仕事でもあるのだと思いました。またまた現場では分からないことも多く、いただいたとまどらせてしまいますが、子ども達の様子や日々の成長をこれからも保育を通して楽しんでいきたいと思いました。写真での保育の実例や保育環境のお話は見やすく、分かりやすくとても興味深かったです。色々な保育のやり方やアイデアが子どものために思い楽しいお話でした。子どもの怒りやつぶやきには耳を傾けて保育のヒントにできるようになれたらいいなと思います。



・今回、改定保育所保育指針についてポイントごとに具体的にとてもわかりやすく  
話をしてくださりとても勉強になりました。

どの辺りにポイントを押さえていたからよいか中絶していただけたのが、先達が全部の各章を覚え、  
その章ごとに各項目を覚えそこに当てはめていくと言われたことにはポイントももらい、読解が  
解いて理解し保育に生かしていきたいと感じました。

手配、保育の内容の辺りで一つ一つ横並びにして見ていくことも教えていただき、改めて  
つながりの大切さも感じました。環境構成の視点についても詳しく話していただき、

子どもたちがあそびやすい環境、自分で選んであそべる環境をもう一度見直し、職員間が  
話し合い（コーナー作り）、玩具の種類・数など、今更にもっとしていきたいと思っております。

手配が勉強不足のところがあったので、今回の改定で特に0、1、2歳児保育についての  
記述も増えているのできちんとポイントを押さえ、しっかり読解が解いて、この職員も同じ  
方向性でも子どもに接することができるようにしていきたいと思っております。



保育研修に参加し

保育のやり、配慮、健康、子ども環境の

大切さを知り、少人数の子供達に接し

ることがわかりました。



今回保育指針の講演会が初めてとても大切なんだと  
気づかされました

「保育所保育指針」を持っているだけにしつこくじっくり読み込み  
と思いました。

子どもの事を大人同士で語り合い話し合う時間がほかに有り  
大事である... 本当にそのとおりです。

保育所保育指針の改定ポイントをわかりやすく教えて頂け  
また、大切なのは子ども主体であるという二点を改めて  
考える有り機会とりました。

二時間のお話で「あ、という間に時間がすぎ」を感じた  
講演会でした。



## 天野珠路先生への研修感想

時代の流れとともにより良く改定されている保育指針を確認しておく必要があると思いつながら実は一度も目を通すことがなかったというのが現実です。

天野珠路先生に研修していただき、保育指針をわかりやすく、細かく説明していただいたおかげで改定の方角性を知ることができました。

子供は育ちゆくもの下あり今が大切。子供を中心に考え話し合い工夫し環境を整えて保育指針に組み合わせていくことで保育の豊かに発展していきます。一人一人の子供達によりよい保育に生かしていくことが大切だということを知りました。





## 天野先生の講演会の感想

指針が改定になったことを知らなかったのでもっともいい勉強になりました。しりとり頭に入れて保育していきたいと思えます。

天野先生の資料の中にあつた、以上見の部屋に天びんがあつるのはとてもいいなと思ひました。

色々なものの重さを自分で測り、て比べてみるのは、良い体験だし楽しみながら学べます。取り入れてみると面白いですよね。

一番参考になつたのは保育する時にコーナーを作って一つのコーナーに3人くらいにすると子供達も押し合う事はない。噛みつき、引、かきもなくなる事では。これから心掛けていきたいです。

